

事業説明会における質問に対する回答

No	項目	質問内容	回答
1	個別相談会	個別相談会を実施する目的は何か。	企業側の提案内容が、企業局の考えている内容とずれがないかを確認する機会として実施する。
2	個別相談会	個別相談会の実施方法は何か。	オンライン会議で実施する。
3	現地見学会	現地見学会では何を見学するのか。	寺谷浄水場で管理している浄水場のポンプ、配管等の機械設備、電気設備、全体的な水の流れの仕組みなどの説明を行いながら、施設の状態を確認していただく。時間の限りにおいて参加者からの質疑応答も可能である。
4	現地見学会	浄水場にある帳簿類の実物を確認したいが可能か。	個別相談にて対応可能だが、Web会議システムを通じての対応となる。全体見学会後の質疑応答の際、要望があれば個別に案内することも可能である。
5	現地見学会	現地見学会の実施時間はどれくらいか。	参加数によるが、1時間程度を想定している。参加数が確定次第、改めてHP等で案内する。
6	応募	提案内容がどのテーマに該当するのか、企業側で判断が難しい場合にはどうすればよいか。	1つのソリューションを提案する場合には該当すると考えられるテーマでの提案でよいが、複数のソリューションを有していて複数提案する場合には、それぞれのテーマごとに提案すること。疑問があれば事務局に相談可。
7	応募	応募の際に複数企業が連携し1つの提案をすることは可能か。	複数者で応募することも可能である。
8	応募	「スタートアップ等との協業イメージ/求めたいサービス」の記載はあくまで例示で、課題を解決できるものであれば提案可能か。	そのとおり。例示以外でも、課題の解決に資するものであれば提案を受け付ける。
9	選考	選考通過数の3者は、テーマ毎か、もしくは全部のテーマの中から3者を採択するのか。	全部のテーマの中から3者を選考通過とする。
10	実証実験	選考結果通知後から実証実験を開始してよいか。	まずは10月31日に実施する事業プラン発表会での発表に向けて事業プラン作成を行い、事業プラン作成後に実証検証を進める予定である。なお、状況により11月前からの実証実験も可能と考える。
11	実証実験	実証実験に関する経費はどの時点で、金額が決まるのか。	選考通過後から令和8年2月6日までの実証実験期間が対象で、期間終了後に実証実験に関する経費に応じて支払いを行う。選考通過後に経費の予算計画を作成し、本事業事務局の伴走メンターが確認し、実証実験後に内容を確定する。
12	実証実験	実証実験経費は一律198万円ではないのか。	当該事業に関する経費が対象となる。選考通過後は個別に経費整理など伴走支援する。なお、経費が198万円を超過する場合も198万円が上限となる。
13	その他	水道管の保守の課題に関し、これまで企業の（水中ドローンや水中ロボットに関する）サービス導入や実績の有無、その上での課題は何か。	これまでに、取扱メーカーによる営業の一環としてデモ実演を実施した実績はある。しかし、実機レベルの適用条件を見極めるには応分の費用が必要となるため、導入に向けた検討が進んでいなかった。本事業では、上限付きだが当局の費用負担による実機での実証実験を通じて、適用条件の整理や課題の抽出を想定している。
14	その他	実証実験により導入が可能と判断された場合、契約方法は入札か、実証実験を行った企業への随意契約とするのか。	随意契約も視野に入れて検討中である。